

平成22年度(社)長崎県サッカー協会 事業計画

(社)長崎県サッカー協会 活動目標	(社)長崎県サッカー協会 活動方針	(社)長崎県サッカー協会 活動の重点	1 主な取組	2 主な取組 実現のための具体的方策
(社)長崎県サッカー協会は、サッカー競技の普及・発展とともに長崎県におけるスポーツ文化の醸成並びに県民の心身の健全な発達に寄与するため、県民に愛され、楽しめる存在として、サッカーが活力の源となることを活動の目標とする。 また、公益法人制度改革については、平成25年度までに協会としての組織の方向性(財団・社団、公益・一般)を定め、新たな法人の認可を受けるための取組を行う。	1 ファミリーの拡大と組織の充実をめざして、JFA(PHQ)の目標具現化のための方策を重点実施する。また、良好な主催事業の企画・運営が、サッカーファミリーだけでなくより多くの県民に対してサッカーの魅力伝える場となるようにする。	◎『キッズプログラムの推進』:心と体の健やかなキッズ年代の育成	(1) PHQ事業への対応(トライアル、チャレンジ等) ①M3.JFAキッズプログラムの推進 ②M4.中学生年代の環境充実 ③M5.エリート養成システムの確立 ④M6.女子サッカーの活動推進 ⑤M7.フットサルの普及推進 ⑥M8.リーグ戦の推進と競技会の整備・充実 ⑦M9.地域/都道府県協会の活動推進・フットボールデーの推進 ・シニア年代の更なる交流機会の推進	① 1種委員会 … 未登録チームのJFA登録促進 … ミドルリーグの組織拡大 … 地域組織の基盤づくりと活動促進 ② 2種委員会 … 18年代のリーグ戦化 ③ 3種委員会 … 地域別U13リーグの展開 … 地域別U15リーグの展開 ④ 4種委員会 … 地域別リーグ戦の展開と組織化(U12・U10) … 8人制サッカー・一人審判制の導入 ⑤ 女子委員会 … 地域を活用したサッカースクールの実施 … 女子リーグの充実 … 指導者養成、登録促進 ⑥ シニア … シニアリーグの充実 … 8人制やファミリーによる楽しいサッカーの展開 … 登録促進 ⑦ フットサル … リーグの活性化 … 第3種、ジュニアユースフットサル大会 … ガールズ(小学生女子)大会の増設 … 社会人愛好者リーグの取組み 「チャンピオンズリーグサテライト大会」 ⑧ キッズ … ながさきキッズプログラムの実施 … 指導者養成、巡回指導、イベントの開催 … エリート養成システムの確立
2 平成26年「長崎がんばらんば国体」の開催で優勝と円滑な運営を目指す。	◎平成26年「長崎がんばらんば国体」優勝を目指す強化プロジェクトチームの具体的活動、国体3種別(成年男子・少年男子・女子)の選手選考・育成・強化の実践	◎国体委員会の組織的活動の推進	(2) 平成26年「がんばらんば長崎国体」プロジェクトチームの事業展開	① 技術委員長を中心とした第1・2・3種委員で構成。支援アドバイザーの導入。 ② 強化プロジェクトの業務内容、3種別に対する事業内容の決定 ③ 平成26年までの事業内容に対する事業計画作成 ④ 2級審判員の養成
◎リスペクトプロジェクトの推進	◎平成23・24年度内の県フットボールセンター設置に向けた準備と支援	(4) フェアプレー精神溢れた行動やリスペクトある行動の推奨	(4) フェアプレー精神溢れた行動やリスペクトある行動の推奨	① 競技場内外での言動に対するグリーンカードの提示 ② 競技中の言動に対するグリーンカードの提示
◎平成23・24年度内の県フットボールセンター設置に向けた準備と支援	◎平成23・24年度内の県フットボールセンター設置のための郡・市協会との連携と市・町への対応	(5) 平成23・24年度内の県フットボールセンター設置のための郡・市協会との連携と市・町への対応	(5) 平成23・24年度内の県フットボールセンター設置のための郡・市協会との連携と市・町への対応	① JFAの基準を元にした選考資料作成 ② 候補地への具体的助言
◎第2・3・4種委員会連携によるユース年代の人間教育を含めた選手育成	◎リーグ戦文化の定着を目指したカレンダーの作成	(7) 技術委員会の組織的活動の充実(指導者・選手の育成、強化)	(7) 技術委員会の組織的活動の充実(指導者・選手の育成、強化)	① 説明・啓発活動の実施 ② 大会の充実 ③ 都市協会における1種を中心とした事業展開の計画・実施
3 Jリーグをめざし夢を実現しようとするチームを支援する。	◎V・ファーレン長崎の事業支援	◎V・ファーレン長崎の事業支援	(9) V・ファーレン長崎への事業支援	(組織) ① 技術委員会議の定例会開催 ② 技術委員会と審判委員会の連携(指導者) ③ ユースダイレクターの有効活用によるユース年代(U18・U15・U13)のリーグ戦化推進 ④ 県指導方針の作成(各種年代の指導方針・カンファレンス) ⑤ 指導者の育成促進 ⑥ 異種別合同トレセン ⑦ 都市トレセン活動の充実 ⑧ 指導方針・最新情報を確認するためのカンファレンスの実施(審判委員会) ① 1級・2級審判員の養成 ② 3級インストラクターの養成 ③ プレーヤーの支援と審判の心理 ④ 4級審判員の資質の向上 ⑤ シニア世代の審判育成 ⑥ キッズ、ジュニア年代における一人審判制の導入 ⑦ フェアプレー・リスペクトある行動へのグリーンカードの提示 ⑧ 8人制ルール導入 (女子委員会) ① 底辺拡大 ② 他種別委員会との連携 ③ 母親を中心とした保護者の取り組み (スポーツ医学委員会) ① キッズ・ジュニアの健康とスポーツ ② シニア世代の健康とスポーツ、特に注意したい怪我と予防 ③ ドーピング対策に関する啓発活動と指導 ④ 「NFA」認定トレーナー制度講座の開設 (国体) ① チーム編成(成年男子、少年男子、女子の選手セレクション) ② 第2・3種年代チームの底上げと計画的な指導 ③ 女子委員会での選手の発掘・系統的育成
4 (社)長崎県サッカー協会の事務局機能の整備と充実及び事務局員の資質の向上に努める。	◎事務局機能の質の向上	◎事務局機能の質の向上	(10) 事務局機能の組織的充実(法人としての機能充実)	① 定例会議の開催 ② 各種別・委員会における定期更新作業と確認 ③ 登録団体の戦績等に関する記録の作成・保管 ④ ホームページを活用した事業展開
◎エコフラッグムーブメント活動推進	◎事務局機能の質の向上	◎事務局機能の質の向上	(10) 事務局機能の組織的充実(法人としての機能充実)	① 協会事業充実のための事業見直し ② ファイリングシステムによる文書管理の徹底 ③ 各種委員会との連携と指導(委員長間の連携) ④ 財務管理手法の構築と指導 ⑤ 事業計画・予算案作成のためのヒアリングの実施 ⑥ 平成25年度までに社団法人の見直しを図る。(財団・社団、公益・一般) ・検討委員会の立ち上げ ・法人格認可までの推進計画作成 ・新たな法人制度の性格、事業展開の違い、協会にとっての有用性検討 ・定款(案)の作成 ・事業内容の検討と新たな委員会の立ち上げ ・法人が有する資金の使途
◎エコフラッグムーブメント活動推進	◎事務局機能の質の向上	◎事務局機能の質の向上	(11) その他	① 県民サッカーの日(フットボールデー)の開催 ② エコフラッグ・ムーブメントの活動取り入れ 『スポーツ大好き 地球大好き サッカー大好き!』 ・エコプレーヤー拡大に向けた啓発 ・県協会として活動(チームマイナス6%)のアピール ・協賛各社に対し趣旨の理解・協力を要請 ・県民へのアピール ③ 主要大会(県選手権、高校選手権、Kyuリーグ、JFL)への観客増員を図る。 ア 目的 ・レベルの高い試合を見ることを通じた技術向上への意欲づけ。 ・観戦・応援する観客にサッカーの魅力の提供。 ・若年層に、サッカーへの夢を育む。 ・有料試合の開催による、資金源の確立。 ・サッカーを通して県民への活力の提供。 イ 大会観戦への増員を図る。特に、JFL3,000名の入場者確保。 ④ 事業委員会の立ち上げについて ア 目的 ・現在の事業をより幅広く展開し、収益性のある事業展開も考える。 ・新たな法人としての事業充実・フットボールセンターの活用を図る。 イ 組織 ・事業毎の担当の配置を図る。 ・他分野からの人材の発掘も考慮する。